

地域力向上事業（助成事業）評価シート

＜令和7年度＞ （天竜区 まちづくり推進課）

1 事業名	鹿島の金貸水神伝説とその誕生説を絵本化して広く伝える		
2 実施団体名	静岡県立浜名高等学校後援会		
3 事業の目的	天竜区鹿島地区に伝わる「鹿島の金貸水神伝説」の掘り起こしを行い、絵本化することで形に残す。また研究成果について、天竜区民をはじめ多くの人々へ還元することで、地域の歴史を再発見するきっかけとするとともに、郷土愛を育み、地域活性化を図ることを目的とする。		
4 事業の内容及び成果	<p>【事業内容】 絵本の制作</p> <p>「鹿島の金貸水神伝説」について、静岡県立浜名高等学校（以下、「浜名高校」）史学部が調査研究を行い、その成果を基に、生徒自らが絵を描き、複数言語による絵本を制作した。</p> <p>(1) 発行者：静岡県立浜名高等学校後援会</p> <p>(2) 発行物：「鹿島の金貸水神伝説」～水神様が病気を担保（引きかえ）に、お金を貸してくれる～（150部）</p> <p>(3) 仕様：210mm×210mmサイズ（32ページと表紙カバー）</p> <p>(4) 主な配付先：天竜区及び浜名区内の私立小中学校、ふれあいセンター、協働センター、市内外図書館など132か所</p> <p>【事業成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天竜区鹿島地区に伝わる「鹿島の金貸水神伝説」を、年齢などを問わず読みやすい絵本にすることで、伝説を広く伝えることができた。 ・フィールドワークに基づく研究成果を伝説の起源に関する考察として絵本の巻末に掲載し、読者へ地域の歴史に対する興味関心や郷土愛を育む一助となった。 		
5 総事業費	478,700 円	補助金額	239,000 円

	項目	ランク		
		A	B	C
6 評価	(1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	(2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	(3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	(4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	(5) 費用対効果	高い	普通	低い
7 今後改善を期待する点	今回制作した絵本をより広く知ってもらうための取り組みを期待したい。			
8 意見等	<p>(1) 事業目的の達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鹿島の金貸水神伝説」を多くの人が親しむことができる絵本（複数言語）として発行し、研究成果を巻末に掲載したことで、地域の歴史再発見や郷土愛を育む一助となったことから、当初の事業目的を達成した。 <p>(2) 地域資源の活用度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でもあまり知られていなかった「鹿島の金貸水神伝説」が高校生によって新たな地域資源として掘り起こされたことは高く評価できる。 ・絵本制作にあたり、『天竜市史』や『天竜市史 続史料編 田代家文書』等の文献が高校生の研究に活用された。 <p>(3) 地域への貢献度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで、「鹿島の金貸水神伝説」を紹介する冊子が無く、地元でもあまり知られていなかったが、高校生の取り組みが新聞に取り上げられたことで、地域でも広く知られるようになり、期待以上の効果が得られた。 <p>(4) 財政支援の妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本という親しみやすい媒体を用いた情報発信は、天竜区のPRに寄与している。 ・高校生や地域住民が郷土に伝わる興味深い伝説やそれを取り巻く文化があることを再認識できたことは、歴史の再発見や郷土愛の醸成の一助となっていることから、財政支援の妥当性は高い。 <p>(5) 費用対効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業提案時に提出された配付予定先（天竜・浜名区内の学校や教育施設、市内外の図書館等）に絵本を配付し、「鹿島の金貸水神伝説」を新たな地域資源として周知できたことから、一定の費用対効果が認められる。 			

地域力向上事業（助成事業）評価シート

＜令和7年度＞ （天竜区 まちづくり推進課）

1 事業名	「第8回浜松市森林（もり）のまち童話大賞」ミュージカル創作体験事業		
2 実施団体名	「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会		
3 事業の目的	<p>次世代を担う子供たちに、森林の大切さを伝えるとともに、豊かな自然に恵まれていること等のPRをすることを目的とした「浜松市森林のまち童話大賞」を実施している。</p> <p>当該童話大賞の趣旨に沿って、天竜区の地域資源である「森林」の大切さや恵みを文化・芸術とともに多くの子供たちに伝えることで、人と自然が共生する社会の実現、森林や林業への関心を深めることを目的とする。</p>		
4 事業の内容及び成果	<p>【事業内容】</p> <p>「第8回浜松市森林（もり）のまち童話大賞」ミュージカル創作体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者：67人 ・スケジュール 4月～参加者の募集 4月～「第8回浜松市森林のまち童話大賞」ミュージカル企画／創作／舞台制作 4月～10月 ミュージカル及びダンスの創作・指導 10月9日 公開リハーサルの実施（浜松市天竜壬生ホール） <p>※創作したミュージカルは、森林や自然環境の大切さを啓発するための様々なイベントで活用。（「第8回浜松市森林のまち童話大賞」記念事業、2025 ザ・山フェス）</p> <p>【事業成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・童話をミュージカル仕立てにすることにより、森林の大切さや恵みを多くの子供たちへ感覚的に働きかけ、伝えることができた。 ・ミュージカルでは、森を模した不思議な生物と子供たちとの体験を期待感や高揚感を高める演出により描くことで、人と自然が共生する社会の実現、森林への関心を深めることができた。 		
5 総事業費	1,621,534円	補助金額	804,000円

	項目	ランク		
		A	B	C
6 評価	(1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	(2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	(3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	(4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	(5) 費用対効果	高い	普通	低い
7 今後改善を期待する点	<p>天竜区の地域資源である森林の果たす役割や大切さについて、今後も文化・芸術を通してより多くの人々に普及させていくことを期待する。</p> <p>子供たちの創造的思考力やコミュニケーション能力を育む機会を継続して提供いただきたい。</p>			
8 意見等	<p>(1) 事業目的の達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第8回浜松市森林のまち童話大賞」大賞受賞作品『ぼくらとモリボウの森』をモチーフにミュージカルを創作し、公開リハーサルを通して天竜区の地域資源である森林の大切さや恵みを多くの子供たちに伝えることができたことから、当初の事業目的を達成した。 <p>(2) 地域資源の活用度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天竜区の地域資源である「森林」の果たす役割や大切さをPRするため、「第8回浜松市森林のまち童話大賞」の大賞作品を用いた効果的な情報発信が図られ一定の効果が得られた。 <p>(3) 地域への貢献度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作されたミュージカルは、豊かな森林が浜松市全域に貢献していることを印象付けるものであり、天竜区民が地域に愛着と誇りを持てる内容に工夫されていたことは、高く評価できる。 ・将来を担う子供たちが、ミュージカル創作体験から学んだことを、今後の地域活動に活かされることが大いに期待できる。 <p>(4) 財政支援の妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカルを通じた啓発事業は、世代や関心を問わず楽しみながら森林の大切さを学ぶ機会が提供されるとともに、天竜区のPRにも大きく寄与することから、高く評価できる。 <p>(5) 費用対効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカルの創作は、事業提案時の計画どおり。 <p>今後も森林や自然環境の大切さを啓発するための様々なイベントに活用されることが期待できる。</p>			

地域力向上事業（助成事業）評価シート

<令和7年度> (天竜区 春野支所)

1 事業名	Music Echo～日々の暮らしに SPICE を～		
2 実施団体名	はるいろ実行委員会		
3 事業の目的	<p>地域に眠る自然・文化資源・食（アート、音楽、山椒、スパイス）を活かし、感性を刺激する文化芸術イベントを創出する。</p> <p>事業を通じて、地域ブランド力の向上、交流人口の拡大、地域住民の誇りとつながりの醸成を図る。</p> <p>単発イベントにとどまらず、持続的な地域活性化のモデルを目指す。</p>		
4 事業の内容及び成果	<p>【事業内容】</p> <p>Music Echo～日々の暮らしに SPICE を～</p> <p>地域資源（施設・人・食材）を活かした体験イベントを開催し、質の高い音楽、アート、食を通じて地域の魅力を発信した。</p> <p>(1)開催日：令和7年11月2日（日）</p> <p>(2)開催会場：春野ふれあい公園</p> <p>(3)参加人数：団体スタッフ18人、入場者等200人（内72人は町外者）</p> <p>【事業成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春野ふれあい公園を活用し開催したことで、春野町内外からの多くの人たちの来場により春野町や当該施設のPRができた。 ・春野町の特産品を活用した飲食物販により経済効果も得られた。 		
5 総事業費	1,610,948 円	補助金額	805,000 円

	項目	ランク		
		A	B	C
6 評価	(1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	(2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	(3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	(4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	(5) 費用対効果	高い	普通	低い
7 今後改善を期待する点	<p>はるいろ実行委員会は春野町内で様々なイベントを開催している。 交流人口の拡大につながる好事例として、近隣住民の理解・協力を受けながら今後も継続的に開催されることを期待する。</p>			
8 意見等	<p>(1) 事業目的の達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に眠る地域資源を切口とした新たなイベントが創出され、交流人口の拡大に寄与した。 ・春野町内へのチラシの全戸配布や、インスタグラムを活用した周知など、工夫した広報が実施され、春野町のPRに寄与し当初の目的を達成した。 <p>(2) 地域資源の活用度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント会場に春野ふれあい公園（野外ステージ）を活用し、物産販売は、春野町の特産品を活用した飲食物が販売されるなど、地域資源が多く活用された。 <p>(3) 地域への貢献度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の若年層を対象とした刺激を与えるイベントであり、春野町民が地域に眠る魅力を再確認し、地域への更なる誇りや愛着を持つ機会として寄与した。 ・実施団体は今後も春野町で様々なイベントを開催することを計画していることから、地域振興への継続的な貢献が大いに期待できる。 <p>(4) 財政支援の妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の高齢化・若年層の減少が進む中、世代間交流のきっかけを与えるイベントの開催であったことに加え、地域の魅力を再確認する良い機会となった。 ・春野町外からの参加者に春野町の魅力を伝える場となり、地域振興に寄与し一定の効果が得られた。 <p>(5) 費用対効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該イベントは、春野ふれあい公園の認知度を高めるとともに、今後の活用可能性を広げるための大きなきっかけとなり、交流人口・関係人口拡大に大きく寄与した。 			

地域力向上事業（助成事業）評価シート

<令和7年度> (天竜区 まちづくり推進課)

1	事業名	岡部亮登打楽器リサイタル&打楽器ワークショップ		
2	実施団体名	岡部亮登打楽器リサイタル実行委員会		
3	事業の目的	<p>天竜区内の中・高校の子供たち（吹奏楽部員等）へワークショップや吹奏楽指導を行い、ハイレベルな演奏に触れる機会や適切なレッスンを受ける機会を創出することで、天竜区の吹奏楽を活性化させる。</p> <p>高いレベルの音楽表現とその卓越した演奏技術を天竜区民に鑑賞してもらう機会を設ける。</p>		
4	事業の内容及び成果	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡部亮登打楽器リサイタル 東京フィルハーモニー交響楽団の首席ティンパニ（打楽器）奏者の岡部亮登氏による打楽器リサイタルを開催した。 (1) 公演日：令和7年9月25日(木) 18:00 開場 18:30 開演 20:05 終演 (2) 場所：浜松市天竜壬生ホール (3) チケット：一般3,000円 学生1,000円 (4) 来場者：182人（一般60人、学生51人、招待71人） ・打楽器ワークショップ 光が丘中学校、清竜中学校及び天竜高等学校の生徒へ打楽器基礎等のレッスンを実施した。 (1) 日時：令和7年9月27日(土) 9:00～15:30 (2) 場所：光が丘中学校（午前）、天竜高等学校（午後） (3) 参加者：光が丘中学校と清竜中学校合同バンド（43人） 天竜高等学校（5人） <p>【事業成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天竜区内の中学校・高校の生徒（吹奏楽部員等）へワークショップや吹奏楽指導を行い、国内トップクラス奏者の演奏に触れる機会や適切なレッスンを受ける機会を創出することができた。 ・高いレベルの音楽表現とその卓越した演奏技術を鑑賞する機会を提供することができた。 		
5	総事業費	741,093円	補助金額	370,000円

	項目	ランク		
		A	B	C
6 評価	(1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	(2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	(3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	(4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	(5) 費用対効果	高い	普通	低い
	7 今後改善を期待する点	<p>今回のワークショップをきっかけに、実行委員会や各学校の吹奏楽部との間に交流が生まれ、天竜区内で新たな吹奏楽活動・文化振興への取り組みが展開されることを期待する。</p> <p>また、今後は、壬生ホールだけでなく、天竜区内の他の会場での開催を期待する。</p>		
8 意見等	<p>(1) 事業目的の達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> 天竜区内の中高生が高いレベルの演奏に触れる機会や適切なレッスンを受ける機会を創出するとともに、地域住民に音楽表現とその卓越した演奏技術を鑑賞する機会を提供したことから、当初の事業目的を達成した。 <p>(2) 地域資源の活用度</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かな響きが魅力の壬生ホールをリサイタル会場として活用したことや、地元の光が丘中学校、清竜中学校及び天竜高等学校の吹奏楽部員を対象にワークショップが実施されたことで、一定の地域資源の活用が図られた。 <p>(3) 地域への貢献度</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の文化・芸術活動の新たな担い手となりうる天竜区内の中高生にハイレベルな演奏に触れる機会や適切なレッスンを受ける機会が創出されたことは高く評価できる。 <p>(4) 財政支援の妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> 天竜区内の中高生がワークショップや吹奏楽指導を受けることにより、音楽に対する取り組み方や楽しみ方を見出すことができたことは、天竜区の吹奏楽や本市の文化振興に寄与したことから、一定の効果が得られた。 <p>(5) 費用対効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 当初の計画どおり、吹奏楽部員等を対象としたワークショップや吹奏楽指導を実施するとともに、壬生ホールの魅力を十分に生かしたりサイタルを実施することができたことから、一定の費用対効果が認められる。 			